Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2021/12/14

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.42	-0.14
JPY/THB	0.2944	-0.0019
USD/JPY	113.54	0.10
EUR/THB	37.71	-0.26
EUR/USD	1.1284	-0.0029
USD/CNH	6.376	-0.001
SGD/THB	24.44	-0.15
AUD/THB	23.85	-0.24
USD/INR	75.76	-0.02
USD Index	96.32	0.22

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.253	0.008
10Y (THB)	1.972	0.010
5Y (USD)	1.204	-0.046
10Y (USD)	1.416	-0.068

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,786.3	3.4
WTI (Oil)	71.29	-0.38
Copper	9,447.5	-59.0

Stock

95

85

75 65

55

10/08/2021

10/12/2021

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,625.83	7.60
NIKKEI (JP)	28,640.49	202.72
DOW (US)	35,650.95	-320.04
S&P500 (US)	4,668.97	-43.05
SHCOMP (CN	3,681.08	14.73
DAX(GER)	15,621.72	-1.59

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	1,275	1877.5
Bond net flow	(1,786)	-10521.3

*compared with previous day



10/10/2021

10/11/2021

MIZUHO

10/09/2021

34.50 34.00 33.50 33.00 32.50 32.00 31.50

31.00

0.3100 0.3050 0.3000 0.2950

0.2900

1400 10/08/2021

USD/THB

10/10/2021

JPY/THB

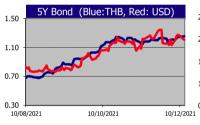
10/11/2021

4200

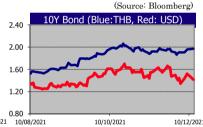
4100

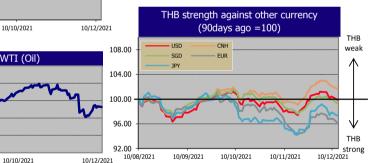
4000

10/12/2021



Fund flow (Blue:Bond, Red:Stock)





10/09/2021

Yesterday's market summary

●ドルバーツ

10/08/2021

30000

20000

10000

-10000

・昨日のドルバーツは下落。バンコク時間は33.50近辺でオープン。先週発表された米CPIは市場予想通りの結果となり、市場では上振れに対する警戒感が高まったこともあり、本指標を通過したことで警戒感は一歩後退。週明けのドルバーツは米金利が低下基調を示す中で、じり安で推移。海外時間に入り、英国にてオミクロン株に感染した患者が死亡したとの報道を受け、リスクセンチメントは悪化を示すもバーツ安には繋がらず、結局33.40近辺でのクローズとなった。

●ドル円その他

・昨日のドル円は小幅レンジ推移。東京時間は113.50近辺でオープン。アジア時間はFOMCを前に様子見ムードが強まり方向感に欠ける展開を辿るが、ロンドン時間に入ると英国でオミクロン株に感染した患者が死亡したとの報道が入り、センチメント悪化からドル円もじりじりと値を下げる展開。しかし全般的には方向感にかける展開となり、113.50円を挟んでのレンジ推移の後、結局113.60円近辺でクローズした。

Bangkok Dealer's Eye

週明けのドルバーツは小幅にバーツ高へ振れてのスタートとなっています。注目のオミクロン株については、週ごとにマーケットの捉え方が変わっており、大きなニュースがない中で右往左往している状況を鑑みると、年末の薄い流動性を実感します。今週の注目はなんといっても12月14-15日に開催されるFOMCになりますが、ブラックアウト期間に入る前の段階でパウエルFRB議長からはテーパリングの加速を支持する発言が見られたこともあり、今回会合ではテーパリングの終了次期を来年6月から3月に前倒しする予想が増えてきています。利上げ時期についても合わせて前倒しする予想が増えており、今回は特にFRBメンバーのドットチャートに注目が集まります。急速に上昇してきた原油価格は足元で一服感が見られているものの、欧州での天然ガス価格やコモディティ市場では価格上昇が顕著になってきていることを鑑みると、各国のCPIは引続き高水準で推移することが見込まれ、米国の利上げシナリオは順調に進んでいきそうな印象です。株式市場においても楽観的な上昇相場は終焉の兆しを示しており、利上げへの地ならしへは着実に進捗しているように見受けられます。ドルバーツについては、米国の利上げが意識されるなかで大きな急落は予想しにくいところでありますが、1年を通じてバーツ安が進んできた2021年を鑑みると、年末のFOMC後には長期ポジションの調整が入ることも考えられ、ここから一段と流動性が低下する年末にかけては短期的な下落には注意を払っておきたいところです。(橋)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitaion to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.